

N
P
O
活用推進

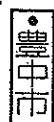
実り上々、初収穫に満足

10才 豊肥で育った稻を手に
する橋本さん(左端)と高島さん(右端)

2004.10.10 大阪日日

市提供情報

豊肥リサイクルたい肥で (とよっぴー) コメできだ!!



豊中市
市民の

法人「花と緑のネットワ
ークとよなか」(高島邦
子代表、三十五人)が袋
詰め作業を行い、市と一
緒に学校、農家、市民に
配布している。

これまで花や野菜作り
に使われていた豊肥だ
が、今年初めて二軒の農
家でコメ作りに使用され
ることになった。生じみ
から作った液肥を水田に
使用する例は今までにな
ったが、せん定枝など木
質を多く含んだいい肥を

活用を進める団体のメンバーも、初の収穫に満足
生育したコメが、収穫期を迎えた。今年初めて市内の農家でコメ作りに使用された豊肥。稲穂の実り真合も上々で、豊肥の
調理くずから作ったたい肥(豊肥(とよっぴー))で、これまで花や野菜作りに使われていた豊肥だが、今年初めて二軒の農家でコメ作りに使用されることになった。生じみから作った液肥を水田に使用する例は今までになつたが、せん定枝など木質を多く含んだいい肥を設された「縁と食品のリサイクルプラザ」(原田中二丁目)で年間百八十(〇四年度見込み)を生産。現在、市民が中心となり立ち上げたNPO



き込まれた。七日に稲刈りをした橋本さんは「土じる」と実感。周りの農家から豊肥を使いたいとの話もあるという。このうち、同市走井の橋本忠夫さんの田んぼには昨年秋の収穫後、千平方ぶどう豊肥一トンがす

比べ、穂の重みで垂れ下

とよひーとよなか
の「豊肥で育ったコメ、
野菜を学校給食で使って
もらいうのが今後の目標」と話す高島代表は「資源循環の輪を促す取り組みを多くの市民に知つてもうべく、身近なところから環境を守ることの大切さを感じてもらわなければ」と話している。

2004.10.10 大阪日々新聞